京城日報
朝刊　本日朝刊四頁

世界注視の日ソ中立
現狀においての永續を斷言
建川大使　滿洲里で語る

建川大使

【滿洲里にて宇多特派員發】變轉極まりなき歐洲の國際政局の大渦巻の中に立つこと一年半日ソ中立條約、漁業條約暫定協定等幾多の重大問題を解決して各國外交陣に[illegible]本の國力を顯示した前駐ソ大使建川美次氏は五日午前十一時十七分モロトフ鐵道で滿洲里驛に到着祖國に第一歩を印した、長途の旅行に聊かの疲れも見せぬ大使は出迎への佐々木少將、松田滿洲里副領事と固い握手を交した後記者團と會見最近のソ聯事情につき次の如く語つた

滯ソ一年半の任期中に色々の事はあつたが、最も深い感銘を受けたのは昨年十二月八日の米英に對する宣戰の布告と緒戰における赫々たる皇軍の戰果であつた、外交團の大部分が敵國乃至敵性國であり中立國としてはトルコ、イラン、スエーデンくらゐのもので殘餘は殆んど親米である、さうした雰圍氣の中においてあの宣戰の御大詔と戰果が如何に敵國外交團に異常の衝動を與へたかは諸君の御想像にお委せする街を歩いて外交團に會ひ、米英陣に會つても肩身が廣く四、五度上を向いて歩けるといつた隨梅で何とも言へぬ深い感銘をうけた遂か祖國にあつてもその國力が如何に影響六であるかをつくづく感じた次第である ソ聯に關しては深く立入つて語る自由を許されないが、ソ聯は戰爭以前から軍第一主義をとつてをり獨ソ戰以來超軍需第一主義をとつてゐる、從つて民間の需要に關しては相當に切迫急を告げてをり恐らく米英陣であつたら現在のソ聯の狀態では一週間も支へる事は出來ないであらうこと程窮乏を告げてゐるが、ソ聯人の國民性は永い間の訓練と忍苦性をもつてゐるので些の不平も不滿もなく一般人民はスターリン指導の下に先づ相當の團結をもつてゐると私は見てゐる、國民の大部分は戰ひは必ず勝つものと期待してゐる、從つてソ聯一般人民は物資は窮乏してゐるが動搖するといふやうな事は目下の處なからう次は日ソ關係であるが日ソ中立關係に關しては詳細述べる自由を持たないが世界が最も關心を持つて見張つてゐる日ソ中立は現狀において永續するといふ事は斷言出來る

牙山周邊 ……軍掃蕩戰果
【……四日同盟】新千牙山周……東駐在第三艦その他……おける三日までの戰果は次のごとくである
……遺棄死體一、一三五、捕虜五九四、鹵獲品武器彈藥多數

英・重慶軍を猛爆
荒鷲、ビルマ各地で活躍

【リスボン四日同盟】ニューデリー四日來電、日本航空部隊の活動は全ビルマにわたり熾烈を極めなかんづく○○方面より撤退中の英印軍めがけて猛襲を行ひ○○北方で抗戰中の重慶軍に對しても重大壓迫を加へ、また日本軍爆撃機は○○に對して爆彈の雨を降らした外中部ビルマの二要衝に對しても爆撃を行つた

米、空の要塞　ビルマ戰線に初出動

【リスボン三日同盟】アメリカ系通信所報─アメリカは最近ニューデリーに空軍司令部を設置して援英を策してゐたが、三日司令部發表によればボーイング四發機（空の要塞）部隊は二日ビルマ戰線に向け最初の出動を行つた

オノコロモ油田の火災消火に活躍する○○部隊勇士とこれに協力する捕虜たち（スラバヤ郊外において）─陸軍省檢閲濟─

日本信頼熱昂揚
大東亞戰下のタイ國
坪上大使の歸朝談

【台北電話】皇軍バンコック平和進駐をはじめ日泰攻守同盟など數々の大役を果した坪上駐泰大使は約七ケ月振りで事務打合せのため上京の途次五日午後三時半空路台北着直ちに鐵道ホテルに入つたが大東亞戰下泰國の現狀につき左の如く語つた

今日の泰國は國を擧げてピブン首相を信頼し、日本と山臣の誓ひを固め今や南方における強力な獨立國として飛躍しつゝある軍事同盟締結後の泰國では絶對に日本に協力し、大東亞戰爭完遂のため、日本と運命を俱にして邁進しなければならぬとの決意が全國民の間に浸透し、ピブン首相はラジオ、新聞、議會などあらゆる機會を通じ國民に徹底せしめてゐる、ピブン新内閣は今や國民の信望を集め、女子供に至るまで日本信頼熱が昂揚してゐる、特に皇軍に對する信頼は絶對で上流の婦人娘たちはもちろん子供なども果物や花束を携帶して傷病兵を慰めてをり、兵隊と泰人のうるはしい交驩は隨所で見受けられる、また泰國軍隊もビルマ作戰で皇軍と協力戰果を擧げてゐる、今後は單に軍事方面のみならず經濟、文化教育などあらゆる方面において日泰協力が固められ、ひいては南方の強力な獨立國泰として全力を擧げ、大東亞戰完遂に邁進して行くのが泰國の現狀である

豐富な電力に南方資源の配合
半島が負荷する使命
大野總監　平壤で語る

大野政務總監

【平壤にて藤本特派員發】西鮮地方の生産力擴充狀況視察の途にある大野政務總監は天谷咸鏡北道知事、竹内同警察部長を帶同五日午後四時三十分平壤驛着列車で新義州から入壤、矢本平壤覆審法院長官民多數の出迎へをうけ直ちに鐵道ホテルに入り高知事、山田府尹から夫々管内狀況を聽取したのち記者團と會見次の如く語つた

平北では水豐ダムに義州のダムと多獅島を見た、何れもよくやつてゐる、水豐の如きは洪水その他の惡條件を克服して豫定通り完成したのには全く感心した、多獅島には年内に船が着くやうになる、明日は五年振りで鎭南浦に行き主要工場を見ることにしてゐる、平壤は

平元線が全通したので東への連絡もつき交通の中心地となり電力並に水も豐富であるため非常に活氣を呈して來たことだがこの豐富な電力に南方の資源を結びつけることが大東亞共榮圈建設の一環として朝鮮が負荷する使命だと考へる

平壤以北は石炭岩と無煙炭が豐富に出るので工業の中心をなすともいへるし、合成工業の適地であるからこの方面へ發展すべきであらう

大野政務總監　鎭南浦視察

入壤中の大野政務總監は五日鐵道ホテルに一夜を明かし六日午前九時ホテル發平壤博物館を見てのち自動車で鎭南浦に向ひ鎭南浦府廳に入り上野府尹から管内狀況を聽取ののち全職員を集めて訓示を行ひ進んで聯合、日鐵、製錬所、日産化學の各工場を視察同日午後三時五十九分鎭南浦驛發歸任する

印度兩巨頭、英の魂膽を駁擊
英案は即"印度參戰"
受諾すれば自家に火

ガンヂー聲明

【ブエノスアイレス四日同盟】ガンヂーは四日秘書ラジャゴ・ピラチャリを通じ記者に對し左の如き聲明をなした＝印度が英國に對し軍事的援助をするか、否かはひとへに今次戰爭が印度民衆のための戰爭であるか、どうか、その政府が印度大衆のための政府であるか否かを知らされることにかかつてゐる、英國ごときに提案したものは印度を英國の手に握らんとするものでこれは印度を救ふ道ではない、印度大衆はこれをよく知つてゐる、將來獨立を與へるといふが如き保障は大衆にとり一個の價値も有しない、勿論印度が英國に對し戰ひをするといふが如きことはないが、さりとて印度が戰爭に捲込まれることが大衆のためだとも考へること出來ない、印度大衆の要望するものは『印度人の印度』を建設することで他になんらの野心もない

ネール談話

【リスボン四日同盟】アザッド、ネール對クリップス、ウエーベル四者會談は最初クリップス、アザッド、ネール會談が行はれたのちクリップスがアザッドとネールをウエーベルに紹介して辭去、そののち三者同坐して約一時間にわたり會談を行つた、しかしユーピー情報によればこの會談の結果英國が印度人數百萬名を戰爭に參加せしむべく企圖してゐることが明かとなりこれが英印交渉の新たなる難關となつた模樣で、ネールはウエーベルとの會談後ユーピー記者に對し『再びウエーベルと逢ふことはあるまい、けふの會談はこれで終了した』と意味深長な一語を漏らしてゐる一方、會議派長老ガンヂーは『對日戰に印度が捲き込まれることは自分の家に火をつけるやうなものだ』と會議派領袖に勸告したと傳へられ事態はさらに紛糾をつゞけるものと見られる

動員權の完全掌握
會議派の要求三ケ條

【ベルン（スイス）四日同盟】クリップスの對印提案に對し印度國民會議派が如何なる反對要求をつきつけたかは各方面の論議の對象となつてゐるが、四日のユーピー、ニューデリー電は國民會議派が次の三要求を提出したと報じてゐる

一、少くとも國防管理權の一部を印度人の手にゆだねること
一、印度憲法會議の地方代表は印度民衆によつて選出されるべく英國側の指示によつて任命されてはならぬこと
一、國民會議派は各州の印度藩邦加盟任意たるべしとする英國側の提案を拒否する、また國防問題に關し印度側はカナダおよび濠洲の如く印度人を防衛相に任命することおよび少數派を國防に參與せしめること

またエキスチェンジ・テレグラフ通信ニューデリー電によれば目下の英印會談における中心議題は印度防衛相の權限問題にあり、印度側は軍隊動員權の完全掌握を要求してゐるに對し英國側は軍隊徴募裝備訓練する權限のみを許容したい方針といはれる、しかして萬一國防問題につき英印間に一應の打合せがついたにしても回教徒問題が次の重大難關となるは必至で回教徒聯盟は現在までクリップス提案に對し公式に意思表示はしてゐないが四月のロ……

回教徒聯盟　對印提案討議

イタ─通信アラハバッド電によれば、回教徒聯盟のジンナーは回教徒の希望を無視する限りわれくは英國の提案を受諾し得ないと言明したことは注目に價する、したがつてたとひクリップスが會議派懷柔に成功したとしても回教徒問題が依然としてあとに控へてゐるわけで英印會談の前途にはまだ幾多の困難が豫想される、他方一部情報によれば英國は英印會談に對する各方面の干渉を喜ばぬ模樣で

【ビシー四日同盟】アバス通信アラハバッド電によれば、回教徒聯盟運用委員會は四日夜ジンナー總裁司會のもとに長時間にわたり會議を續行、クリップス特使の對印提案に關し討議を行つた

英最後の努力　結局失敗せん　獨逸側の見解

【ベルリン四日同盟】印度國民會議側ではこれに對して次のやうな見解を示してゐる
クリップスがその出發を延期したのはその間なんとかして穩和派の長老連と話をつけ強硬派を切崩さうといふにあることは明かだが、このやうな最後の努力も結局失敗に終りクリップスの印度訪問は遂に何ら實を結ばずに終るであらう

蔣、ネールに親書

上海特電【四日發】ニューデリー來電によれば國民會議派の對英強硬態度に狼狽せる蔣介石は三日國民會議派領袖ネールに對し特別親書を送つたといはれる

會議派委員會　五日も開催

【リスボン五日同盟】ニューデリー來電によれば、印度國民會議派運用委員會は、五日再び會議を開催、四日夜行はれた四者會談の結果につき慎重檢討を加へることゝなつた、他方ルーズベルト大統領の對印特使ルイズ・ジョンソンは過去十日間にわたる英印會談の經緯につきル大統領に對し詳細なる報告を送る豫定といはれる、またワシントン來電によれば、大統領秘書スチーブン・アーリーはル大統領が印度某指導者に書翰を送り英印會談を決裂せしめぬやう要請した旨四日發表した

特に蔣介石およびルーズベルトの介入を心よしとしてゐないが、これは東亞の英自治領に對する米國の影響增大を恐れるためと見られてゐる

一派のクリップス提案拒否により……側は依然難局に逢着、クリップスはその歸國豫定を延期するの已むなきに至りルーズベルト米大統領はルイズ・ジョンソンを印度に特派一方蔣介石がネールに書翰を送るなど、米蔣ともに躍起の側面運動を開始した、しかしてクリップスは目下しきりに印度側穩和派の抱込み、切崩し工作を行つてをり新聞記者會見においても樂觀的見解を明かにしてゐるが、ドイツ……

華北政治力の強化と新文化の創造
諮詢會議　綜調研究所の使命

【北京にて川邊特派員發】華北政務委員會は成立二周年に當り本年度の新規計畫として一、諮詢會議の設置、二、水利事業の實施計畫、三、華北綜合調査研究所設立の三大計畫を表明したことは、華北が日華提携の必然を確信し共同防共、經濟合作に協力大東亞戰爭の前進基地として物心兩面にわたつてその使命達成に勇往邁進してゐる證左に外ならない

ごとくに諮詢會議の設置は華北の政治力を強化する點、また綜合調査研究所設立は中國新文化を創造すると同時に華北の資源開發に資する意味において劃期的施設といはねばならぬ、すなはち諮詢會議は華北に在住する國家的功勞者、碩學鴻儒の元老を聘任して在野有力要人の華北政治に對する協力體制を確立、華北に負荷された任務遂行に完璧を期さんとするものであつて委員には左の七氏が就任した

在青島前臨時政府行政委員會委員長	王克敏
同　元司法農商各部總長駐日公使	章仲和
在天津元國務總理	龔心湛
同　元國務總理	靳雲鵬
同元清國兩廣總督	民國廣
同廣西各巡按使	張鳴汝
同元交通部總長	呉毓麟
在北京元財政交通部總長	曹岐霖

かくの如き堂々たる顏觸れの元老が要望に應へて蹶起、華北政務委員會に挺身的協力を示さんとすることは華北政治に磐石の強みを加へると同時に大東亞建設に邁進せんとする華北の熱意をこゝにみるまた華北綜合研究所設立の眼目とするところは大東亞共榮圈の一環として重要性を加へ來つた華北の諸建設を促進する礎石となるべき經濟、文化、民政各般に亘る精確な統計資料を蒐集し、一方華北にもつとも古く發達した中國文化の精髓を究めて新文化を創造するなど基本的調査研究を行ふとともに日華調査研究の綜合的統制運營に當るわけで日華兩者の相互出資による財團法人で既設の日華諸調査研究機關は欣然その傘下に入ることとなつたことは眞に日華提携の好適例といへよう

なほ同研究所事務所はさきに皇軍の接收した舊燕京大學跡がこれに充てられたとは華北一億民衆の福祉增進を希念する軍當局眞意の現れでもある、かくて華北は友邦日本の志を志として國力の增進をはかり新中國建設、大東亞建設に向つて輝かしい巨歩を踏み出した

開發復舊工作進む
軍政下、スマトラ新生

【昭南市四日同盟】中央山脈地帶奥地に潜伏する殘敵の掃蕩も一段落したスマトラは早くも全島に軍政が布かれ、行政機構の確立とゝもに着々その歩が進められてゐる、一方スマトラの行政は從來の蘭印統治形態から切離してマレーと同樣の形式のもとに軍政が實施され、すでに各州軍政部はそれぞれ現地に着任した、しかして産業財政金融交通など具體的根本對策は未だ發表されてゐないが、産業對策は石油資源の開發を中心として進められるべく目下これが開發復舊工作に鋭意努めつゝあり、石炭、農産物など重要資源の開發も急速に行はれる模樣で極めて期待されてゐる

比島の第三國人登錄

【マニラ四日同盟】比島派遣軍では今回比島在住の日本人及び比島人以外の第三國人全部に登錄を行ふこととなり、去る一日附をもつてこの旨布告を發したが、ベルガス行政長官も三日この旨布告をもつて登錄規定を公布した

怪飛行機　瑞典に爆彈投下

【ベルリン四日同盟】スエーデン通信社の報道によれば、國籍不明の一飛行機が三日スエーデン南部國境ボマ…地區のハバスンダ港に對し爆彈五個を投下したのち東方へ飛翔し去つたといはれるが、四日のデーリー・エスペー通信は爆彈の破片にロシヤ文字が刻まれてゐる……

在米日本外交官移送

【ビシー四日同盟】アバス通信ワシントン電によれば、米國務省は日本の大使館員および諸事館員三百餘名がバージニア洲のホツチスプリングスからホワイト、サルフアー・スプリングス（ウエスト、バージニア洲）へ移された旨四日發表した、一行は同地でポルトガル領東アフリカのロレンソ、マルケス行きの船を待ち東亞にある米國側大使館員と交換される筈である

ペルー邦人紐育へ

【ブエノスアイレス四日同盟】リマ日報の報道によればペルー在住邦人、外交官家族ならびに邦人商社員五十餘名は四月五日、十四日の兩日にわたりニューヨークへ向け移送されるはず

蔣政權、法王廳に修交を要求

【ローマ四日同盟】バチカン筋情報によれば、日本の對法王廳外交關係開始を氣に病んだ蔣政權側では、日本との對抗上法王廳との外交關係開始を希望しその旨すでに法王廳に要求したといはれる、米國新聞は法王廳がすでに右要求を受諾したと報じてゐるが、法王廳側では未だかゝる承諾を與へた事實はない、たゞ重慶から外交關係開始の可能性ありや否やを照會して來たのみであると譯つてゐる

米、加船擊沈

【ビシー四日同盟】アバス通信ワシントン電によれば、アメリカ海軍省は中型アメリカ商船およびカナダ船各一隻がアメリカ大西洋岸において潛水艦のため擊沈された旨四日公表した

米、亞國へ油槽船を讓渡

【ブエノスアイレス四日同盟】リシントン來電によれば、米海事委員會は、四日油槽船ユリシーズ號（一二、〇五六トン）を次の條件附でアルゼンチンに讓渡することになつたと發表した
一、戰爭終了後中海事委員會の承認なくして右油槽船主を變更せざること
一、同船は米洲間の石油の輸送にのみ獨占的に使用すること
一、戰爭中アルゼンチンはその所有油槽船を他國へ讓渡せざること
これらの條件のうち第三項はアルゼンチン所有の全油槽船に對する所有權の全面的行使を制限するもので特に注目に値する

米、ドゴール派と協力聲明

【ビシー四日同盟】アバス通信ワシントン電によれば、アメリカ國務省は近くフランス領アフリカのドゴール派の新都たるブラザビユ（コンゴ河流域）に總領事館を開設する旨四日左の如く發表した
アメリカ政府は戰爭遂行上におけるフランス領北アフリカの重要性に鑑みドゴール派行政の中心地たるブラザビユに總領事館を開設することに決定した、フランス領赤道アフリカおよびカメルーンはフランス國民委員會（ドゴール派の名稱）の統帥下にあり從つてアメリカ政府は右地域に關する限り同委員會と協力するものである

濠洲、男子徵用を擴大

【リスボン四日同盟】メルボルン來電によれば濠洲首相カーチンは十八歳から六十歳に至る全男子を強制的に市民防衛事務に服せしむるに決した旨四日布告した

駐土獨大使歸任

【ベルリン四日同盟】パーペン駐トルコ獨大使はリツベントロップ獨外相と打合せのため歸國中であつたが三日ベルリンを出發ソフイヤ經由空路歸任の途についた、パーペン大使の歸國はブルガリヤ國王ボリス三世の訪問とこれに伴ふブルガリヤの今後の行動に重要關係があつたものと見られてをり、今後の發展は注目されてゐる

大島駐獨大使　在歐大公使歷訪

【ベルリン四日同盟】大島駐獨大使は五日ベルリン發約二週間にわたりハンガリー、ルーマニヤ、ブルガリヤ各地を歷訪、大久保ハンガリー、筒井ルーマニヤ、山路ブルガリヤ各公使と會見、さらにソフイヤでは栗原駐土大使と會見し歐洲および東亞の情勢に關聯し個別的意見の交換を遂げることになつた

前線各地視察　樞軸國武官歸來

【台北電話】大東亞戰における皇軍の赫々たる戰果は獨伊はじめ樞軸各國民の非常な關心を呼び起してゐるが前線各地視察を希望する駐日獨大使館附陸軍武官クレッチメル大佐、同空軍武官グロナウ大佐、同伊大使館空軍館附陸軍武官ベルトーニ大佐、同空軍武官フエデリーチ中佐、同ルーマニヤ公使館附武官ラドンスコ大佐、同フインランド公使館附武官補佐官ライネ大佐など一行六名は日本軍當局の好意により秋田中佐の案内で去る三月九日より二十五日間に亘り香港を振出しに西貢、盤谷、マレー、スラバヤ、ジャバ、比島など各地戰線を詳細に視察し五日空路台北飛行場に歸來した

司法長官會　同第二日

【東京電話】翼贊選擧の取締に關する司法長官會同第二日目は五日午前九時より協議會を行ひ引つゞき午後二時から午餐と同様協議會を行ひ同二時散會した

愛の赤道【54】

竹田敏彦(作)
都竹伸一(繪)

產業戰士(二)

二階の廊下を、四五間行くと、健一は、歩を停めて、右手のドアのハンドルに手をかけたが、くるりと二郎の方へ向直つて、

『どうぞ、お入りください』

軍隊調だつた。軍需にあつた二郎には、それがいかにも青年らしい快調と、いふにいへない親し味をさへそゝつて、

『やア……』

と、快活に受けて、室內へ入つた。健一は、ガチヤリとドアを閉めると、

『お恥かしい陋家ですが…』

言ひながら、台所併用の狹い附屬室を通り抜けて、奧の襖を開けた。

小ざつぱりした八疊の日本間に一揃の簞笥と佛壇が並んで、床の間の軸は版畫らしい花鳥だつたが、前の花瓶には新しい菊の花が香り、緣側に向つた机の傍には數學や、製圖や、工作機械に關する澤山な書籍が一ぱい書棚に詰り、わけて、正面欄間に揭げ奉つた、聖上陛下の御尊影を仰いだ時、二郎は、この貧しい家の主の高い、尊い心境に、思はず胸が熱く迫つてきた。

二郎は、御尊影に、恭しく敬禮をすると、

『いや、その後は、お變りなく』

健一の方へ笑みかけた。

『よくいらつしやいました』

健一も丁寧な挨拶を返したが、

『わざく遠いところ、濟みませんでした』

『いや、僕の方こそ、何とお詫びしていゝかわからないんだが、今夜は、お母さんは?』

『このアパートの隣組の婦人常會の方へ行つてゐます。今夜は、あなたがお見えになるので、出迷つてゐたのですが、大切な常會のことですから、そんな勝手は言つてゐられませんので、失禮して出てゆきました。もう三十分もしたら歸つてきますが、何でしたら呼んでまゐりませう』

『いや、別に、それほどの土產話もないから、お歸りになつてからで結構だよ』

『ところで、此度は千鶴子が、馬鹿なことをしまして、何とも申譯がありません』

健一は、慇懃に頭を下げて、二郎に詫びた。さうなると却つて二郎の方が責められて、

『いや、それは反對だよ。原因はまだよく判らないが、恐らく、僕ら一家の方にこそ、お詫びしなければならない落度が、あるんぢやないかと心配してゐるんだよ』

二郎は正直に想像を述べたが、健一は、

『そんなことはありません……』

意外にも強く否定して、

『たとひ、どのやうな不滿がありませうとも、わづかな感情で永年の御恩を裏切り、こんな御心配をかけるといふことは、何といつてもあれの落度です。本來なれば、僕の方から東京へ馳けて、お詫びしなければならないんですのに、わざく從兄さんにいらしつていただいたりして、何とも申譯ないと默つてゐます』

かういつて健一は心から、申譯なささうに頭を垂れた。

今まで、あれほど自分等一家に對する非難や攻擊を覺悟してきた二郎は、逆に相手の方から詫びられて、却てすつかり恐縮してしまつた。同時に今の日本に、こんな青年がまだいくらもゐるのかと思つて、不思議さうに、健一の顏を眺めた

そして、

『時に健一君は廿五歲だつたね』突然、こんなことを訊ねた。